

港湾振興便り



2016. 5
第108号

*:

目次

*:

1 ポートエッセイ

—救援のノウハウを活かし熊本の復旧支援に全力—

～日本港湾振興団体連合会会長(新潟市長) 篠田 昭～

2 トピック

●留萌港から韓国向けトドマツ材を今年初輸出

(留萌市 経済港湾課 港湾振興係)

●青函圏みなとオアシスの連携

(東北地方整備局 青森港湾事務所)

3 お知らせ

*:

1 ポートエッセイ

－救援のノウハウを活かし熊本の復旧支援に全力－

～日本港湾振興団体連合会会長(新潟市長) 篠田 昭～

*:

熊本地震の「前震」から1カ月がたつ。「本震」が後からくるという型破りな震災だった上に、頻繁に発生を続ける余震が救援・復旧作業を妨げている。今回の熊本地震で亡くなられた方々へ哀悼の意を表し、被災された方々に心からお見舞いを申し上げる。

私が暮らす新潟は2004年の中越大地震、2007年の中越沖地震と相次ぐ災害に見舞われた。新潟市はほとんど被害がなかったため、被災地への救援・復旧に全力を挙げ、その結果、災害時の対応ノウハウが蓄積された。この経験は5年前の3・11大震災の際に大いに生かされた。発災後、直ちに先遣隊を派遣、10時間後には仙台市役所に先遣隊が到着した。過去の経験から必要な災害対応策を奥山市長にアドバイスし、大変に感謝された。

今回も政令指定都市のお仲間である熊本市に先遣隊の派遣を考えたが、前震段階では熊本市での被害が甚大というほどではないとの判断もあり、派遣を見合わせてしまった。その後、16日未明に本震が発生したのを受けて先遣隊を出発させたが、道路渋滞もあって熊本市役所への到着は17日午前になってしまった。

それでも3・11大震災時に救援・復旧に当たった経験者のノウハウが生かされたようで、被害の見える化や避難所の運営などへの助言は大変に喜ばれたようだ。現在は指定都市市長会で分担を決め、熊本市での上下水道の復旧作業、避難所の運営支援や罹災証明などに交代で70人ほどが当たっている。

今回の災害では3・11大震災の教訓が生かされていない部分があり、残念な思いもあった。例えば救援物資が当初は集積所一か所に集中し、各地の避難所への運搬に手間取ってしまったようだ。被災した都市の市街地に設けた集積所へ物資を集中させることは、交通渋滞を激化させ、避難所などへの輸送を遅れさせることになる。中越沖地震の際には救援物資を被災地中心部に運び込まず、ブロックごとに物資集積拠点を設けた。そこで民間業者らが救援物資を仕分した上で避難所などに運搬し、効果を挙げた。

また、柏崎港の岸壁が耐震化のおかげで使用することができ、船による大量輸送が大きな効果を発揮した。3・11大震災の際には被災地の港湾も大被害を受けたが、例えば新日本海フェリーが敦賀便などを休止し、物資を北海道など最寄りの港湾に輸送して救援効果を挙げた。

今回の熊本地震では、大分県を含む内陸部に被害が広がったせいも、あまり港湾の機能発揮が報道されていない。熊本・大分などの港湾機能がどれほど維持され、効果を発揮したのか、今後検証していきたい。

熊本地震は今後、復旧から復興段階を迎える。これまでの経験・知見を活かして、港湾の活用も含めて最大限の支援ができるよう、国などにも必要な対策を求めていく。

*:

2 トピック

*:

●留萌港から韓国向けトドマツ材を今年初輸出

(留萌市 経済港湾課 港湾振興係)

3月22日(金) 空知管内産のトドマツ材の輸出に向けて、今年初となるパナマ船籍の貿易船が留萌港に入港し、同港北岸壁で荷役作業が行われた翌日、韓国(仁川)に向けて出港しました。

この取組は、平成25年から、留萌地域で多く生産されているトドマツ材を需要が見込まれる韓国・中国へ留萌港から輸出できないか、関係者が一丸となって検討した結果、平成26年4月に中国へ、6月には韓国へ、初の輸出が実現し、以後、継続的に続いている取り組みです。トドマツ材は、1回で約2000~2500m³も輸出されており、この取り組みのおかげで、平成27年の港の輸出貨物量は5年前から比較すると約740倍、輸出額が約28倍に増加し、これにより留萌港の港湾振興にも弾みがつきました。



トドマツ材の荷役作業の様子

今後も地元関係者と連携し、この取り組みが続くよう、鋭意取り組んでいきたいと思います。

●青函圏みなとオアシスの連携

(東北地方整備局 青森港湾事務所)

3月26日に北海道新幹線が新函館北斗まで開業となり、青森県と北海道道南地域からなる青函圏では、新たな交流人口の創出や観光圏形成に向けた取組が活発化しています。

その青函圏で認定されている7つの「みなとオアシス」が連携し、魅力を発信する観光ガイドブックを作成しました。

「青函圏周遊観光ガイドブック」では、各みなとオアシスのお勧めグルメ、お土産、見どころや周遊観光モデルプランを紹介しており、ガイドブックは青函、東北のみなとオアシスや東北の道の駅で配布しています。

また、津軽海峡フェリー(株)が毎年実施している「どうなん×あおもりスタンプラリー」でも、青函圏みなとオアシスとの連携を始めており、青函圏のみなとオアシス、道の駅、津軽海峡フェリーのスタンプを集めると、条件を満たした賞品に応募することができます。

実施期間は4月18日(月)から1月15日(日)です。

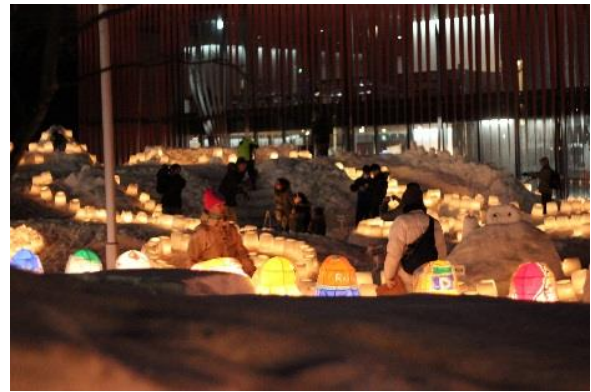
こうした様々な取り組みが、青函圏みたとオアシスの交流人口の増加に繋がれば嬉しいです。



▲周遊観光ガイドブック



▲スタンプラリー



▲雪のイベント（キャンドル点灯式）



夏のイベント（ラジオ体操&朝マルシェ）



秋のイベント（アフロ1/2リレーマラソン）

3 お知らせ

◇ 第35回横浜開港祭 Thanks to the Port2016

開催日：平成28年6月1日（水）及び2日（木）

開催場所：臨港パーク及びみたとみらい21地区、新港地区、その他周辺

概要：“Thanks to the Port”『「開港を祝い、港に感謝しよう」～未来へ繋ぐ開港の歴史、正しく学び、共に祝う市民祭～』というコンセプトのもと、港と共に発展してきた横浜にとって誕生日とも言うべき開港記念日である6月2日を本祭として、2日間に渡り海上、陸上、ステージイベントなどの市民参画型の催しが数多く開催されます。

Web ページ：<http://www.kaikosai.com/>

◇ 大阪湾にどんな生き物がいるかな??

～第9回大阪湾生き物一斉調査の実施～

実施内容：大阪湾生き物一斉調査は、大阪湾沿岸で環境活動に取り組んでおられるNPO等の方々のご協力を得て、市民の皆さんと一緒に大阪湾の生き物調査を実施するものです。

開催日：平成28年6月4日（土）（荒天のときは6月5日（日））

開催場所：大阪湾沿岸26地点（※地点毎の場所の詳細は下記URL参照）

Webページ：<http://kouwan.pa.kkr.mlit.go.jp/kankyo-db/life/>

主催：大阪湾環境再生連絡会
大阪湾生き物一斉調査プログラム実行委員会

◇第11回 ビーチライフ in 新舞子

「ビーチライフ in 新舞子」は、ブルーサンビーチの砂浜を活用したビーチライフに参加し、浜辺で過ごすことの楽しさを体験してもらうことにより、四季を通じて観光客を誘致し、地域の活性化を図る目的で開催しています。

開催日：平成28年6月5日（日）

開催場所：愛知県知多市（新舞子マリンパーク ブルーサンビーチ）

実施内容：(1) 新舞子 de ビーチバレー……一般参加型男女混合4人制ビーチバレー大会
(2) ちびっこビーチ運動会……つなひき、玉入れ 等
(3) ビーサンとばし、ビーチフラッグス

同時開催事業

(1) 新舞子スプリングフェスティバル
(2) 中部みなとオアシス観光物産展
(3) PRブース 等

主催者名：知多市

主管者名：ビーチライフ in 新舞子実行委員会

お問合せ：0562-33-3151（ビーチライフ in 新舞子実行委員会）

Webページ：<http://www.city.chita.lg.jp>

◇ ～海でつながるプロジェクト～

第5回深日港活性化イベント深日港フェスティバル

実施内容：深日港フェスティバルは深日港の持つ魅力を、住民をはじめ多くの方々に知っていただくとともに、地域の活性化への起爆剤として、深日港を中心としたイベントを開催するものです。

開催日：平成28年6月26日（日）

開催場所：大阪府泉南郡岬町深日（深日港荷揚げ場及び深日港内）

主催：深日港活性化イベント実行委員会（事務局：岬町まちづくり戦略室）

共催：みなとオアシスみさき

